

道路工事で活躍する重機たち

道路を造る現場では、いろいろな車(重機)が活躍しています。その、ほんの一部を紹介します。



ブルドーザー

土をならしたり、ショベルカーが掘りおこした土を、地上のクレーンが釣りあげられるよう、開口部の近くに運んだりします。



まじい力持ち石。

油圧ショベル

「バックホウ」「ドラグショベル」と呼び方はいろいろありますが、みんな同じ機械です。掘る部分(バケット)の大きさをで性能を表します。



パワーが強い。

ダンプカー

掘った土や砂利などを一度にたくさん運ぶことができるトラックです。



そんなに運ぶの、いいわ。



クレーン車

重い資材をつりあげる機械です。ビルの工事などでは、資材を運ぶときや、地下の土を地上へ運ぶときに使われます。



ロードローラー

重い鉄輪でアスファルトの締め固めのほか、仕上げでも活躍します。



タイヤローラー

しきつめたアスファルトをさらに締め固めます。



アスファルトの締め固めには、タイヤローラーが活躍します。

ローラーが活躍する場面は、道路の仕上げでも活躍します。



アスファルトフィニッシャー

道路工事の最終工程にあたる。アスファルトを平らにしきつめていく機械です。



道路の最終工程は、アスファルトを平らにしきつめていく機械です。



ロータリ除雪車

除雪して、路肩にたまった雪を道路の外に出します。

